

## 愛媛、漁船電動化で排出枠

な上に、大手メーカーの市販車とは異なる市場を狙えるのも地方にはチャンスに映る。

小型EV製造のタケオ自動車工業(富山市、社長:武岡米)は、車体が古い街並みに溶け込むよう和紙でデザインした。岐阜県美濃市の開発した「美濃濃和紙」を車体表面に織り込み、夜間は搭載した発光ダイオードの照明で和紙の模様が浮かび上がる。

スマップチや計器類が少ない小型EVは高齢者に運転しやすい。福島県は1人乗り小型EVの開発

はEVに使うシステムを応用して、漁船の船外機を電動化した電動漁船が登場した。静かで何より燃料費を削減するため、各地で動き始めた。

**買い物客に開放**  
群馬県桐生市では群馬大学と地元企業が開発し、1人乗りのEVを販売。物語に開放し始めた。同様に、電化炭素を排出しない電動車両で、魚を運ぶ電動船などとしてブランド化する。  
**群馬県桐生市で群馬大の松村修二客員教員によると、二酸化炭素削減制度の国内グレジット制度の特徴は、「小型EVの需要は変わらない乗り心地。昨秋には漁船電動化が実現され、世界的に高まる」とみる。  
群馬の盛んによる優良で、出社付きの魚を商品化されようになつた。**

## 甲 我が町仕様

## 「地産地消」店舗を認定

なく、他の作業場  
人が漏っていた。  
内では逆業賣が大  
きるといふ。  
同社は自動車や建設機  
械、鉄道車両などの製造  
増益を見込んでいる。  
採算が向上。また、  
汚染への対策も効率化で

松大の新機種は、従来の機種よりも、より多くの機能を備えており、最新の集じん機能を導入し、粉じんの飛散を抑えることで労働上の負担を減らすことが可能になりました。また、次回の売上高が前回同様に伸びる見込みです。

卷之三

4月	レーベル登録
5月	秋田の伊留岩手のペハーマーケット統合合意
7月	青森のマヨヤ山形でのキクチガモリヤが辰申請
1年1月	スピードモリヤのスキ
4月	モリヤが2次画譲提出
~7月 ごろ	モリヤ債権
~8月 ごろ	モリヤの再構成が確定
コストを削減しながら商品と協議しながら販売するが	（仮称年）の再構成が2月1日付で就任。新体制では社長に就任。が2月1日付で就任。新体制では社長に就任。

郎社長)は26日、市販版ノンリーンエンジン車を改造した電気自動車(EV)の第1号車を完成した。今後、正式にナンバーを取得し、実際に公道を走行する予定。ノウハウを積み重ねたうえで、今春

した認定証やスチックカード導入も検討する。「けんこうカード」は、山形弁で「食べてください」の意。東北芸術工科大学(山形市)の中山ダイスケ研究室にてデザインを依頼した。

究をしたり、県と情報交換をしたりしていた。式で井堺浩知事は「(東北大が協力を活発にすれば)企業の研究開発力などが一層向上すると期待